



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年9月7日朝刊中部版

世界アルツハイマー月間

「認知症に関心を」 車にステッカー

焼津市内の認知症サポーター養成講座の講師でつくるボランティア団体「市キャラバン・メイト」は9月の世界アルツハイマー月間に合わせ、認知症への理解を呼び掛けるポスターとステッカーを作製した。福祉関係の施設や車両に貼り出すことで、市民への周知を図っていく。

焼津のボランティア団体

ステッカーはA4サイズで、真ん中の位置に目立つように「認知症になっても安心して暮らせる街」と書かれている。A3判のポスターには、認知症を正しく理解する必要性を記すとともに、キャラバン・メイトの取り組みを紹介している。いづれも認知症支援カラーのオレンジ色を基調としている。介護施設の職員や看護師ら146人が所属する同団体が発案した企画で、「認知症でつながるキャンペーン」の一環で

理解啓発へポスターも



認知症への理解を呼び掛けるポスターと車両ステッカー
＝焼津市内

実施している。ステッカーは、市内の29事業所の巡回用車両など137台に貼られている。ポスターは15事業所の施設内に掲示している。今後、市内の薬局も協力する予定だという。同団体の会長で介護支援専門員の望月隆仁さんは「認知症に関心を持つきっかけになれば」と狙いを語る。
(焼津支局・福田雄一)

- ①「世界アルツハイマー月間」は何月ですか。()月
- ②写真のポスターやステッカーはどんな目的で作られましたか。()
- ③ポスターやステッカーの「オレンジ色」にはどんな意味がありますか。()
- ④「認知症になっても安心して暮らせる街」とは、どんな街のことですか。記事を参考に、あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校／道徳、総合)

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年9月7日朝刊中部版

世界アルツハイマー月間

「認知症に関心を」 車にステッカー

焼津市内の認知症サポーター養成講座の講師でつくるボランティア団体「市キャラバン・メイト」は9月の世界アルツハイマー月間に合わせ、認知症への理解を呼び掛けるポスターとステッカーを作製した。福祉関係の施設や車両に貼り出すことで、市民への周知を図っていく。

焼津のボランティア団体

ステッカーはA4サイズで、真ん中の位置に目立つように「認知症になっても安心して暮らせる街」と書かれている。A3判のポスターには、認知症を正しく理解する必要性を記すとともに、キャラバン・メイトの取り組みを紹介している。いづれも認知症支援カラーのオレンジ色を基調としている。

介護施設の職員や看護師ら146人が所属する同団体が発案した企画で、「認知症でつながるキャンペーン」の一環で

理解啓発へポスターも



認知症への理解を呼び掛けるポスターと車両ステッカー
焼津市内

実施している。ステッカーは、市内の29事業所の巡回用車両など137台に貼られている。ポスターは15事業所の施設内に掲示している。今後、市内の薬局も協力する予定だという。同団体の会長で介護支援専門員の望月隆仁さんは「認知症に関心を持つきっかけになれば」と狙いを語る。

(焼津支局・福田雄一)

- ①「世界アルツハイマー月間」は何月ですか。(9)月
- ②写真のポスターやステッカーはどんな目的で作られましたか。
((例) 認知症への(正しい)理解を呼び掛けるため。)
- ③ポスターやステッカーの「オレンジ色」にはどんな意味がありますか。
((例) (オレンジ色は) 認知症支援カラーだから。)
- ④「認知症になっても安心して暮らせる街」とは、どんな街のことですか。記事を参考に、あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 認知症のことをみんなが理解していて助け合いが自然にできる街。(30字)
周りの人の理解で、認知症の人も希望をもって生活できる街。(28字) など

年 組 名前